



提案者名	Fifth Wave Initiative	連絡先	office※5th-wave.com ※を@に置き換えて下さい
------	-----------------------	-----	----------------------------------

- 地域住民による地域住民のための「情報コンテンツ相互利用基盤」を設け、地域密着の超ローカルなコミュニケーションを活性化して、地域がもっとワクワクする「“自分たちの”しあわせ信州」プロジェクト。
- 地域コミュニケーションが活性化し、地域の活力がアップすることにより、若者・移住者の定着にも寄与。

実態

「しあわせ信州」プロジェクト

- 魅力と価値の発見と発信
- 信州ブランド戦略

県内外への発信

- ◆ 平均寿命：全国1位
- ◆ 移住したい都道府県：全国1位



もっと身近で、もっとみんなで

- ✓ 身内で盛り上がる要素
- ✓ 地域ファーストな指向
- ✓ 子供 ⇄ 若者 ⇄ 中高年の連携
- ✓ 在来住民 ⇄ 移住者の連携（若者定着）
- **情報の地産地消**（例：CATV 自主放送）



課題

- 『しあわせ信州』プロジェクトは、信州の魅力とブランドの**対外発信**として**成功**している。
- この成功を継続・発展させるためには、地域住民がもっとワクワクし、狭い地域内部が盛り上がる「**自分たちのしあわせ信州**」がさらに必要。
- そのためには、情報の地産地消が重要で、**地域密着のCATV 自主放送**をもっと増やせる方策が必要。

方策

- 県の重点施策である「ICTによる地域の活性化・強靱化」の一環として、住民参加型の「**Consumer Generated Contents**」を強化。
- 5Gの**大容量アップリンク**を活かし、多数の住民が撮影する**ライブビデオ**を集め、**地域住民による地域住民のための「情報コンテンツ相互利用基盤」**とする。
- AI分析・編集基盤により、各自が見たいライブビデオが**自動編集**されて視聴する。
- 例えば、市民マラソン、少年野球、地方予選大会、……
- 地域**CATV 自主放送**のコンテンツとしても活用。

効果

- 地域住民が参加型の情報基盤を通じて連携し、地域が**ワクワク**盛り上がる。
- 地域CATV 自主放送など**地域コミュニケーション**が活性化する。
- **地域活力**がアップし、若者・移住者の定着に寄与。

■ 情報コンテンツ相互利用基盤と AI 分析・編集による地域コミュニケーションの活性化

